

秋田県議会
議長 工 藤 嘉 範 様

秋田県知事
鈴 木 健 太 様

秋田県公安委員会
委員長 藤 田 貴 子 様

県道能代五城目線の安全対策に関する

要 望 書

三 種 町

三種町政の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本町では、令和 8 年度に町立統合中学校（三種中学校）が開校し、令和 9 年度には、町立統合小学校（山本地域小学校・八竜地域小学校）が開校します。

三種中学校については、現在の町立山本中学校敷地内に建設中であり、山本地域小学校については、現在の山本中学校を改修する予定としております。

現在の山本中学校への通学路となっている県道能代五城目線の一部区間については、数年前から、地元自治会が町を経て能代警察署に対し、信号機の改善要望を提出しており、安全性を危惧されておりました。

そしてこの度、同路線は山本地域小学校及び三種中学校への通学路となり、交通量の急増が想定されますところ、令和 3 年度には、三種町立小・中学校再編準備委員会から「通学路となっている県道能代五城目線の安全対策が課題である」旨の意見書が提出され、さらに本年度は、三種町 P T A 連合会から「県道能代五城目線の安全対策の推進を求める要望書」が提出されるなど、近時、町民の当該通学路に対する安全への懸念が高まっております。

近年、現在の山本中学校においては、登下校中の生徒が関係した交通事故に関する報告は、幸いにも確認されておりませんが、地域住民においては、車両の交通事故の目撃があります。

本町では、通学路における児童生徒の安全確保については、地域社会全体で対応すべき課題であると認識し、その取組の充実強化に努めてまいります。

県におかれましても、上記事情をご賢察いただき、児童生徒の通学路となっている県道能代五城目線の安全対策について、令和 8 年度早期に交通量調査を行った上で、令和 9 年度の山本地域小学校開校までにはご対応くださるよう要望いたします。

令和 7 年 1 月 7 日

三種町議会議長

三種町長

目 次

要 望 項 目

県道能代五城目線と県道森岳鶴川線の交差点における 安全対策について	1
県道能代五城目線の山本中学校入口交差点における 安全対策について	2
要望の位置図	3

參 考 資 料

児童生徒数の推計	4
児童生徒の通学形態の予測	5
三種町の要望活動等一覧	6

県道能代五城目線と県道森岳鵜川線の交差点における安全対策について

◆ 要望事項

- 令和8年度早期に、登下校の時間帯に絞った交通量調査を行うこと
- 押しボタン式信号機を新たに設置すること

◆ 要望の趣旨

県道能代五城目線に付帯する歩道は、当該交差点において、横断歩道により車道を挟んで反対側に切換っておりますが、信号機は設置されておりません。当該路線はバイパスとして整備されているため交通量が多く、さらに、一般社団法人日本自動車連盟の「信号機のない横断歩道における車の一時停止率（2024年調査結果）」によると秋田県の一時停止率が54.0%と決して高い数値ではないことも勘案すると、押しボタン式信号機の設置により、児童生徒の安全対策を講じていただく必要があると考えます。

◆ 要望の現地写真



(県道能代五城目線を北向きに撮影)

県道能代五城目線の山本中学校入口交差点における安全対策について

◆ 要望事項

- 令和 8 年度早期に、登下校の時間帯に絞った交通量調査を行うこと
- 現在の押しボタン式信号機を半感応式信号機へ改善すること
- 横断歩道を新たに設置すること

◆ 要望の趣旨

当該路線の地勢は、能代方面からは長い下り坂でスピードが出やすい上に緩やかにカーブしているため、当該交差点においては見通しが悪く、町道から県道への車両の進入が大変危険な状況にあります。当該路線はバイパスとして整備されているため交通量の多い現況ですが、統合小・中学校の開校により、保護者による送迎車やスクールバスの往来が急増する見込であることも勘案すると、当該交差点を横断する児童生徒の安全対策としては、半感応式信号機への改善により、車両の適切な交通整理が必要と考えます。

また、当該路線に付帯する歩道は、当該交差点において、横断歩道により接続されておりません。交通量の増加が見込まれる中、町としては、児童生徒が横断歩道のない道路を横断することを認めることはできませんので、横断歩道の設置により、児童生徒の安全対策を講じていただく必要があると考えます。

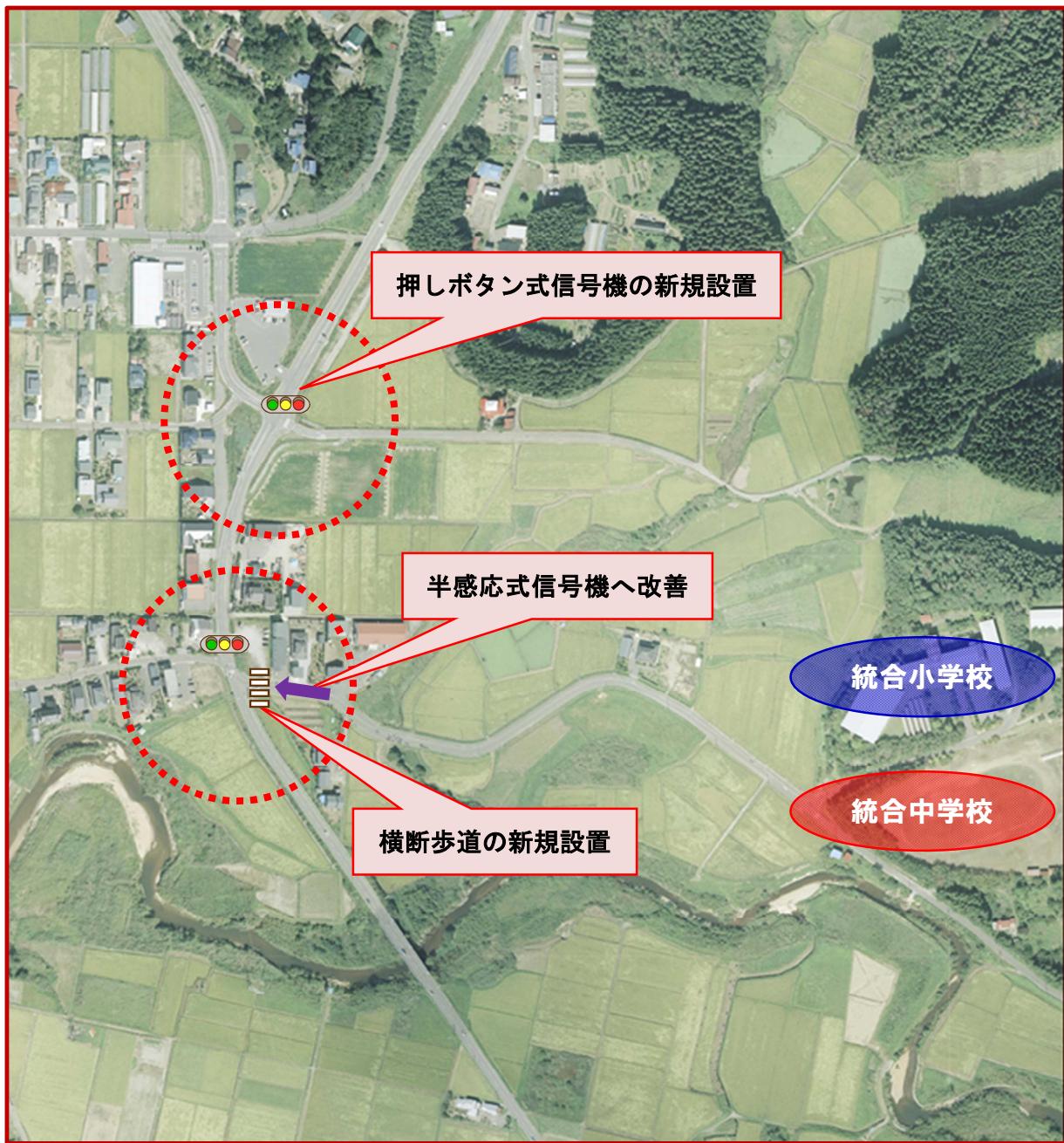
◆ 要望の現地写真



(県道能代五城目線を北向きに撮影)

< 要望の位置図 >

↑ 能代方面



↓ 五城目方面

児童生徒数の推計

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

◆ 統合中学校（三種中学校）に係る生徒数の推計

(単位：人)

中学校名	令和 7 年度 [2025]	令和 8 年度 [2026]	令和 9 年度 [2027]	令和 10 年度 [2028]	令和 11 年度 [2029]
琴丘中学校	62				
山本中学校	88	235	214	219	196
八竜中学校	92				
計	242	235	214	219	196

◆ 統合小学校（山本地域）に係る児童数の推計

(単位：人)

小学校名	令和 7 年度 [2025]	令和 8 年度 [2026]	令和 9 年度 [2027]	令和 10 年度 [2028]	令和 11 年度 [2029]
森岳小学校	121	116			
金岡小学校	49	49			
計	170	165	158	138	123

◆ 統合小中学校に係る児童生徒数の推計

(単位：人)

小中学校名	令和 7 年度 [2025]	令和 8 年度 [2026]	令和 9 年度 [2027]	令和 10 年度 [2028]	令和 11 年度 [2029]
統合小学校	0	0	158	138	123
統合中学校	88*	235	214	219	196
計	88*	235	372	357	319

※ 山本中学校の生徒数

児童生徒の通学形態の予測

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

◆ 統合中学校（三種中学校）開校時 一令和 8 年度一

○ 登校時間帯	7 : 30 ~ 8 : 00
○ 下校時間帯	15 : 30 ~ 18 : 30
○ 通学方法	
徒步・自転車	北方向から 15 人 (生徒 15 人) 西方向から 10 人 (生徒 10 人) 南方向から 20 人 (生徒 20 人)
保護者の送迎	普通車等 27 台
スクールバス	マイクロバス 2 台 (登校時 1 便、下校時 2 便) 大型バス 6 台 (登校時 1 便、下校時 2 便)

◆ 統合小学校（山本地域）開校時 一令和 9 年度一

○ 登校時間帯	7 : 30 ~ 8 : 00
○ 下校時間帯	14 : 30 ~ 18 : 30
○ 通学方法	
徒步・自転車	北方向から 71 人 (児童 58 人、生徒 13 人) 西方向から 43 人 (児童 35 人、生徒 8 人) 南方向から 44 人 (児童 22 人、生徒 22 人)
保護者の送迎	普通車等 40 台
スクールバス	マイクロバス 2 台 (登校時 1 便、下校時 3 便) 大型バス 3 台 (登校時 1 便、下校時 2 便) 大型バス 3 台 (登校時 1 便、下校時 3 便)

-
- 注
- ・「徒步・自転車」の児童生徒数は、児童生徒名簿及び住民基本台帳等による推定値
 - ・「保護者の送迎」は、令和 7 年度スクールバス（山本地域）の登校時乗車率（0.7）及び通学距離を基にした推定値（行きは徒步、帰りは普通車の場合もあり）
 - ・琴丘・八竜地域からのスクールバスについても、保護者の意向によっては「保護者の送迎」が増える可能性あり
 - ・悪天候の日は、「徒步・自転車」については、「保護者の送迎」となる見込み

三種町の要望活動等一覧

◆ 歩道設置に関する要望活動（建設課）

年月日	方法	概 要
R05. 07. 13	文 書	町長（建設課）が山本地域振興局建設部長に、令和5年度山本管内建設関係要望等を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を新規要望
R05. 08. 01	口 頭	三種町通学路合同点検において、建設課職員が山本地域振興局建設部職員に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 07. 10	文 書	町長（建設課）が山本地域振興局建設部長に、令和6年度山本管内建設関係要望等を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を継続要望
R06. 08. 02	文 書	主要地方道能代五城目線・三種町道路建設促進期成同盟会の総会において、町長と同盟会会長（三種町議会議長）が山本地域振興局長、建設部長及び建設部企画建設課長に、要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 08. 06	口 頭	山本地域振興局との意見交換会において、建設課長が山本地域振興局建設部長に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 09. 19	口 頭	現地立会において、建設課職員が山本地域振興局建設部保全・環境課職員に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 10. 25	文 書	主要地方道能代五城目線・三種町道路建設促進期成同盟会の要望活動において、町長と同盟会会長（三種町議会議長）が山本地域振興局長及び秋田県建設部長に、要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望 【回答】 学校の通学路には片側に歩道が整備されている。 県道森岳鵜川線との交差点の安全対策については、教育機関や警察署等と協議しながら進める。

◆ 信号機設置に関する要望活動（町民生活課）

年月日	方法	概 要
R05. 07. 11	口 頭	町民生活課長が能代警察署交通課長及び巡査部長に、ローソン山本森岳店交差点への信号機設置と山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機へ改善するよう要望 【回答】 重大事故が発生していないため今すぐとは言えないが、統合中学校開校まで交通量増加を考慮し設置を検討する。
R06. 07. 22	文 書	町長（町民生活課）が能代警察署長に、統合小・中学校の通学路安全対策に関する要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点へ新信号機設置を要望 ・山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機へ改善及び横断歩道設置を要望
R06. 08. 22	文 書	能代警察署長からの回答 ①ローソン山本森岳店交差点への新信号機設置は見送る。 理由：当該交差点に信号機が設置された場合、付近道路を通過する車両への影響が大きいと考えられるため。 ②山本中入口交差点の感応式信号機の改良及び横断歩道の設置等を秋田県警察本部交通部交通規制課へ要望している。 理由：交差点における交通事故防止の観点から改良が必要と判断したため。
R06. 10. 18	口 頭	能代警察署交通課からの回答 ・秋田県公安委員会の回答を電話で伝えられる。 ①山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機への改善は見送る。 理由：統合中学校開校に伴う交通量変化が不明なため。開校してから再度要望してもらいたい。 ②横断歩道設置も見送る。 理由：交通量が少ないため横断歩道がなくても渡れると判断したため。

◆ 統合小・中学校の通学路安全対策検討会（教育委員会、町民生活課、建設課）

年月日	方法	概要
R06. 11. 01	—	今後の方針について協議 • ローソン山本森岳店交差点へ防護柵と押しボタン信号機の新設要望 • 山本中入口交差点に横断歩道新設と感応式信号機への改善要望 • 整備が開校に間に合わなかった場合の対応を検討
R06. 12. 18	—	三種町立小・中学校再編に伴う通学路の安全対策について協議 • これまでの取組み状況について • 小・中学校統合時の通学形態等について • 今後の方針について

- ◆ 三種町内通学路合同点検（国土交通省能代河川国道事務所道路管理課、山本地域振興局建設部保全・環境課、秋田県警察本部交通規制課、能代警察署、小中学校、町民生活課、建設課、三種町スクールガード・リーダー、教育委員会）

年月日	方法	概要
R07. 07. 28	—	<p>小学校からの危険箇所の報告をもとに関係機関からなる通学路安全推進会議において協議し、必要な箇所について毎年合同点検を実施。</p> <p>令和5年度からは小中学校の再編に伴い、現山本中学校の通学路の合同点検を実施。</p> <p>令和7年度は、秋田県警察本部交通規制課も参加。</p> <p>①ローソン山本森岳店交差点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローソン森岳店交差点に信号機（押しボタン式）の新規設置を要望 <p>□県警本部・森川千春課長補佐及び能代警察署・石黒剛昭交通課長の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27～R6の人身事故2件、物件事故9件 ・統合中学校の開校後に交通量調査等の調査を実施し、必要性があれば設置を検討する。 <p>②山本中学校入口前交差点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本中学校入口交差点に横断歩道の新規設置及び感応式信号機への改善を要望 <p>□県警本部・森川千春課長補佐及び能代警察署・石黒剛昭交通課長の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27～R6の人身事故2件、物件事故1件 ・統合中学校開校に伴う交通量変化が不明なため、開校後交通量調査等の調査を実施し、再度要望してもらいたい。 ・今後、通学路の安全対策を協議する場に県警本部の担当者も参加させていただき、共通認識を深めていきたい。

◆ 三種町議会の決議と要望活動（議会、町長）

年月日	方法	概要
R06.12.13	—	<p>環境厚生委員会が令和6年12月議会定例会に、秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を求める決議案を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会は町長と連携し、秋田県議会並びに秋田県知事及び秋田県公安委員長に対して、統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を強く求めることが全会一致で可決
R07.02.06	文書頭 口	<p>議会議長と町長が秋田県議会 佐藤信喜 議員のご協力を得て、県道能代五城目線の安全対策に関する要望書を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秋田県知事 佐竹敬久 様 <ul style="list-style-type: none"> 統合中学校開校後の状況を見ながらの対応になるが、十分に問題意識は持っているので、新しい知事への引継も行う。 □同席した県警交通規制課の高橋正臣課長の応答 <ul style="list-style-type: none"> 統合中学校開校後に交通量の実態調査を行った上で、信号機設置基準に基づいた対応を行う。 町の通学路の安全対策を協議する場に、県警本部の担当者も参加させていただきたい。 ○秋田県公安委員長 渡部克宏 様 <ul style="list-style-type: none"> 県警と連携して対応を検討したい。 ○秋田県議会議長 北林丈正 様 <ul style="list-style-type: none"> 子供の安全対策に関することなので、良い方向に進むよう後押ししたい。 信号機の設置等については、予算的にも県として対応可能であろう。

